



在京古高同窓会会報
第69号

〒352-0031
新座市西堀2-17-37
在京古高同窓会事務局
佐々木恭次
☎・FAX (042) 494-1598
URL: <http://在京古高同窓会.com>
E-mail: sskkyj@gmail.com
編集長: 亀井 明
印刷: (株)ケーヨー

2022年6月
3年ぶりに総会開催!

令和2年、3年とコロナ禍で総会・懇親会開催を見送りましたが、今年度は、ワクチン接種の進展等を踏まえ、総会・懇親会を開催いたします。講演も南極観測のスペシャリスト佐藤氏をお迎えし、興味深い内容となっておりますので、奮ってご参加ください!

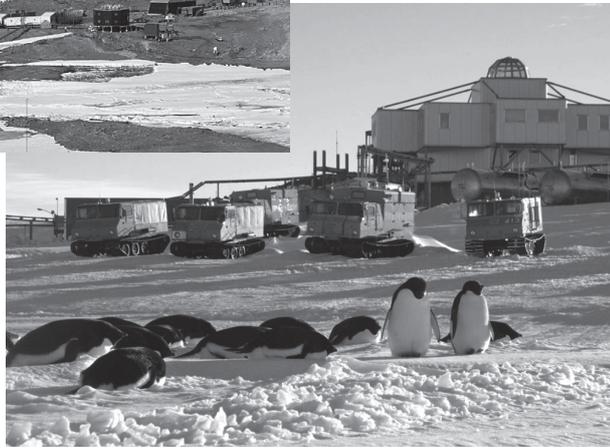
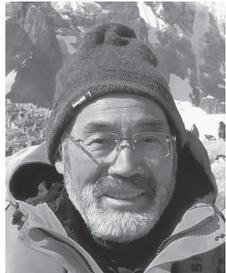
南極の大自然と観測隊

〜厳しく壮大な自然と閉ざされた環境での越冬生活〜

佐藤 夏雄

南極に思いを馳せたのは、小学校高学年の時に、タロとジロが生きていた!との衝撃的な嬉しいニュースに世の中が湧いた時でした。南極観測隊員として参加したいと決意したのは山形大学で物理学を学び、オーロラの観測と研究をしたと思った時からです。

日本が第1次南極地域観測隊を送ったのは、敗戦から11年後の昭和31年(1956年)11月8日に東京晴海港から「宗谷」が出港した時です。翌年1月29日には南極の地に「昭和基地」が設立されました。その後、南極観測は国家事業として継続され、現在南極に越冬しているのは第63次南極地域観測隊になります。観測船は「宗谷」から始まり、「ふじ」「しらせ」



そして2009年には2代目「しらせ」が就航しました。日本の観測基地は「昭和基地」の他に「ドームふじ基地」、「あすか基地」、「ドームふじ基地」を有し、毎年60数名の観測隊員が派遣されています。今回の講演では、壮大で極寒の南極の大自然の下で越冬生活を過ごす観測隊の様子を理解して頂けるよう、写真やイラストを多く用います。主な内容は、南極の基礎知識、南極探検の時代から観測の時代への推移、第1次隊から3次隊の南極観測初期の頃の概要やタロ・ジロの話。そして私が体験した東京湾を出港してから昭和基地へ到着するまでの暴風圏や珍しい氷山、厚い海水などに遭遇する船旅の様子。短い夏の間には急ピッチ

で行われる昭和基地での作業。大きなオーロラなどの自然現象やペンギンなどのゆかいな動物。「ドームふじ基地」への内陸旅行。昭和基地の設備・施設と越冬生活。南極条約の下での国際協力、などです。

南極観測に参加して実感したこととは、南極の自然は壮大であること、

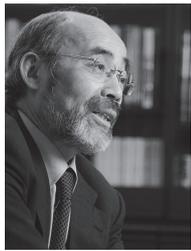
一在京同窓会メモ一

- ・会計年度は4月-翌3月、年会費は2,000円です。振り込み用紙が同封された方は会費納入をお願いします。
- ・会の健全運営のため、賛助金のご協力をお願いします。
- ・次回会報第70号は2023年1月1日発行予定、原稿は常時受付。

と、地球環境変動の過去・未来のシグナルを的確に捉える最適の地であること、自然の美しさと思いが同居している地であること、越冬隊は社会の縮図であること、ガラス張りの人間関係であること、創意工夫・知恵の出し合いの尊さ、そして南極条約の下での国際協力の舞台であること、などです。

令和4年度 在京古高同窓会定時総会・懇親会

- 【日 時】 令和4年6月26日(日) 11:00~15:00
- 【会 場】 総合宴会場「オーラム」 電話番号 03-5812-1123
- 【会 費】 8,000円
- 【講 演】 佐藤 夏雄氏
演題: 南極の大自然と観測隊
〜厳しく壮大な自然と閉ざされた環境での越冬生活〜
- 【講演講師】 佐藤夏雄氏 プロフィール
●1947年 新潟県上越市生まれ
●山形大学理学部物理学科卒
●東京大学大学院博士課程中退
●国立極地研究所名誉教授
●総合研究大学院大学名誉教授
●日本南極地域観測隊4回参加
●夏・冬のそれぞれの隊長を務める
●専門はオーロラ物理学



【交通案内】
JR御徒町駅から徒歩8分
他メトロ日比谷線、大江戸線が近い

皆さん、6月に お会いしましょう

会長 鹿野 軍勝



一昨年の4校合同の新年会以来ご無沙汰してはいますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。コロナの感染が終息した訳ではありませんが、何とか総会を開きたいと思っているところです。コロナの蔓延で、我々の心も体も硬直して閉じこもっている感じですが、そろそろ解していかなければと思っているところではあります。皆様の感じは如何でしょうか。

今は、テレビも新聞も、暴虐極まるロシアのウクライナ侵略のことを報じています。とても気になる事柄です。何が気になるかと言えば、国際社会はそれぞれ領土と国民を抱えるたぐさんの主権国家から成り立っている、国と国との関係には国際法と言われる一定の規範が介在しているはずですが、ロシアは見事というか全くそれを無視して行動しています。ロシアの攻撃で家を失い隣国へ避難せざるを得ない人々も多く、また民間人（戦闘に関係のない人）も多く命を落としている惨状です。ウクライナは勇敢に抵抗を続けています。また、米国・EU諸国、そして日本も、ロシアに対する厳しい経済制裁やウクライナに対する経済支援・武器等の供与で応じていますが、この戦争が終わる見込みはたつていません。

戦争は少なくとも今年いっぱい、悪くすると来年まで続くとの論評も出ています。その間の甚大な損害や失われる多くの人命を考えると、暗澹たる気持ちに陥ってしまっています。ロシアのウクライナ侵略に端を発して、我々の生活に直結する電気・ガス・ガソリン・食品等の値段が軒並み上がっています。値段は上がれど給料は上がりません。先が見えないところが一番つらいところではあります。ここで各国の反応を一瞥しておきましょう。国連総会の決議には多くの賛同が得られていますが、ロシア・中国は別として、インド・サウジアラビアなどは中東諸国、アフリカ諸国に至っては半数近くが棄権に回っています。これは、欧米や日本の考え方が未だ十分説得力を持って世界に及んでいない現実を表しているのではないでしょうか。

話は変わって、隣の韓国のことに触れてみたいと思います。この前の大統領選挙でユン候補が当選したこと、最低のレベルまで冷え切った日本と韓国の関係を少しは良い方向に持っていける可能性が出てきたといっているのではありません。現にユン次期大統領は日本に使節団を派遣する意向のようです。この機会に、日本としても筋論はそれとして韓国側の想いを汲んであげる度量を示してもいいのではないのでしょうか。隣国との関係、ましてや植民地支配・従軍慰安婦・徴用工など過去の遺産を抱える隣国同士の関係は殊更に難しいものがあるとは思いますが、何とか新しい光を見つけて欲しいものです。さて、今年の総会では二つの大事なことが諮られることになっていきます。一つは、新しい会長に

昭和48年卒伊藤健二さんに就いていただく予定です。二つ目は、同窓会の年会費を2千円から3千円に値上させていただく件です。何卒よろしくお願い申し上げます。それでは、6月にお会いしましょう。

ごあいさつ

古川高等学校校長 藤川 卓志



在京同窓会の皆様、紙面でご挨拶を申し上げてから1年が経ちました。新型コロナウイルスの影響により皆様と懇談する機会を持つことはできませんでしたが、いつも母校のために温かい手を差し伸べて頂いていることに衷心より感謝申し上げます。第74回卒業式で東京雪賞を贈られた前生徒会長を始め、約30名の卒業生が東京の大学に進学いたしました。皆様に助けて頂くこともあります。宜しくお願いいたします。

次に築館高校との定期戦についてお伝えいたします。結果は9対4で古川高校の大勝利となりました。一昨年は、練習試合を定期戦に見立てて勝敗を決め、昨年は応援団も入れない状態かつ限られた競技により勝敗を決めたため、在校生は実際に定期戦を見たことがないという状況で4月27日を迎えました。両校の事前協議において、どの様な形であっても構わないので仲間が戦うところを応援させたという古高側の強い要望により、

応援合戦のない（OBとしては不満足な）定期戦を開催いたしました。結論から言えば「やっつてよかった」。先輩方ご承知の通り、生徒職員が心を一つにして仲間を応援する経験が、古高生にとって貴重な財産となるからです。実は定期戦担当の教員も本校OBではありますが、2年前に異動してきたため女子も入った今の定期戦を見ておりません。しかし、そんな不安を吹き飛ばすような青空の下、築館高校の校庭に（心の中で）凱歌を歌い上げました。

話は変わって、本校では学期の始めに校長講話の時間があります。その中で大学時代の思い出話「友人（理学部地学科）との会話」を伝えました。「デザートあるけど食べるか」と聞いてくるので「食べる」と答えるたらナシが出てきて、「シヤキシヤキしてあげるけど甘みが足りないね」と話したら、「それ大根」と言うので「何それって？」聞いたんです。「金がないから大根買ってナシの形に整えた。ピタミオンは豊富だし、糖分控えめだから体にはいいと思う」とって真顔で言うんですよ。地層の何億年というスパンや、宇宙空間の広さを基準に考えている人から見れば大根とナシの違いなんて誤差のうちなんでしょうね。

感染症対策で我慢を強いられることも多い昨今ですが、どんな状況にあつても工夫次第で楽しくも、つまらなくならないこと、を伝えたくて、こんな話もしています。生徒を鼓舞するために時々変な話をしておりますが、在京の先輩達の活躍も生徒達にはよい刺激になっております。先輩方の益々のご活躍を祈念しております。

BIPは、企業様と共に事業開発・経営改善に取り組み、第2・第3の成長を創るパートナー



Business Integration Partners
BIP株式会社

昭和42年卒
取締役会長 佐々木 昭美

東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2-10 東洋ビル6F
TEL: 03-5542-1417 FAX: 03-5542-1418
東北事業所 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン19F
TEL: 022-208-9322

E-mail: info@bi-p.co.jp URL: http://www.bi-p.co.jp

情報処理のエキスパート 高水準コピー | 最新技術導入のDTP

総合複写 総合印刷

信頼と実績のケーヨーにおまかせください!

- 諸官公庁完成図書
- 電子納品作成支援(CALS)
- 図書製本・CAD入出力
- 写真撮影
- デジタルデータ作成支援
- ファイリング・写真整理
- データ変換・入出力
- 総合複写 製本・総合印刷
- 大型コピー・各種製本
- デジタル印刷・パンフレット

専任スタッフ・有資格者

CALS/EC インストラクター	6名
SXF 技術者	1名
電子化ファイリング検定B級	4名
文書情報管理士1級	13名
文書情報管理士2級	9名



〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-1-6 TEL.03-3242-0191
URL: https://www.keyo.co.jp E-mail: info@keyo.co.jp



第69号に寄せて

古川高校同窓会

会長 伊藤 貞嘉



新緑が大変美しい季節になりました。在京古高同窓会の皆様、い

かがお過ごしでしょうか。私もこの連休に、妻と一緒に新緑を見に鳴子に行ってきました。今年は3年ぶりに「すだれ放流」が行われました。これは鳴子ダムに冬の間に蓄積した雪解け水を一斉に越流させるもので、高さ100メートルのダムを八筋の水の流れが簾のように下る姿は見事なものでした(写真1)。また、ダムやその下の流れを囲むように、楓などが新鮮できれいな薄緑色に輝く新緑を見せてくれました。また、新緑が日の光に輝き、湖面に映し出されていて、とても美しい光景でした(写真2)。振り返ってみますと、これまで妻と

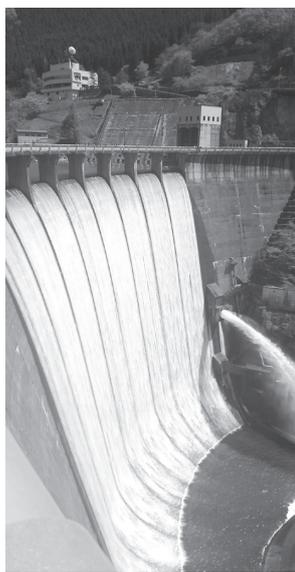


写真1



写真2

一緒に新緑を見に行つたという記憶がありません。京都の嵐山などに妻と一緒にいるはずですが、それは学会出張のついでに行っているのだと、記憶がないのだと思います。大学を退職して、白石の刈田病院に来て3年になります。が、様々な政治的な問題で、病院の運営に関しては混乱の極みをたどっていました。最近少し、道筋が見え始め、東北医科薬科大学などからの支援を頂き、何とか形になる気配が出てきました。やっと少し心の余裕が出てきたところです。

新型コロナウイルス感染は日常のようになり、自分たちの周辺にも陽性者が出てくるのが普通のようになっていました。新しい変異株になり、感染力が高まっていますが、重症者や死亡者の割合は少なくなつて、弱毒化しているような印象を受けます。しかし、インフルエンザと比べてまだまだだ重症化の割合は高く、後遺症の問題もあります。油断せず、このウイルスとうまく付き合ひながら、社会活動を維持するように工夫しなければなりません。私も少しずつ活動の範囲を広げて、県外での講演を行っております。また、9月にはアメリカの学会から講演の招待を受けているので、久しぶりの渡米しようと考えています。大きな集まりも、2020年に古高

同窓会が開催してくれました、私の紫綬褒章受章祝賀会が最後となっていました。今年は、東北大学医学部の私の後任もこの3月にやつと着任し、第二内科同窓会と祝賀会が開催される予定です。ほつとしています。また、在京古高同窓会も開催される予定と聞いており、皆様とお会いできることを期待しております、かつ、楽しみにしております。

ソ連のウクライナへの侵攻により世界中が不安定になっていきます。普通感覚ではとても信じられないことです。私が教授になって(1997年)間もないころの医学部教授会の忘年会で、九十歳を超える元第二外科教授の植哲夫名誉教授が「争いというのは困ったものだ。誰か皆が仲良くなる方法を発見して欲しい」と笑顔で、そして真剣に話しておられたのを思い出します。科学や技術は進歩しても、人は賢くなつていないのでしょうか。

近況報告

事務局長 遠藤 直樹



4月の下旬に古川でも夏日となる日があり、桜の開花から満開になるまで数日であったにも関わらず下旬には積雪とまさに地球温暖化を感じること1ヶ月でした。古川高校は4月8日に昨年同様、来賓や保護者の人数を制限した形で新入生240名を迎え入学式を挙行しました。式の中で伊藤

貞嘉古高同窓会会長より「古高に入学したのであれば高い目標を持ち、卒業後は旧帝大・難関大に20名以上合格するよう努力をしてください。」と激励をいただきました。また例年であれば在校生が古高の校歌を披露してしまつたがその機会がなくなつてしまつたため今年度は生徒会長から古川高校の伝統や高校生活についての熱いメッセージがありました。どちらの話も新入生にとってこれからの古高の高校生活に対する期待と気持ちの高揚が感じられる入学式となつたのではないのでしょうか。

さてこの3月に卒業した3年生の進路ですが国公立大合格96名という結果でした。96名という合格者は過去2番目に多い結果となり大変健闘したと思います。よく注目される東北大の合格者は6名(含過卒2名)と、昨年より多く合格者を輩出できましたが、まだまだ満足できる数字ではありません。やはり今後の課題は現役志向で最後まで高い目標を貫き通せないところだと思います。保護者の考えや経済的な部分も大きく、学校だけではなかなか課題解決できない部分もありますが更に高みを目指して職員一丸となつて頑張つていきたいと思つています。

4月27日に3年ぶりに築高定期戦が築館高校会場で行われ9勝4敗で古高の勝利となりました。やはり新型コロナウイルス感染が懸念されたため開会式は動画編集したものを視聴、閉会式は日を改めて各高校での実施となりました。加えて恒例の応援合戦などは実施できず以前とは違つた形での定期戦となりました。しかしながら伝統を守るため最低限のことはできたのではないかと思います。来年度に向けて更に一歩従来の形に戻せ

るよう工夫を凝らしながら継続していきたいと考えています。各支部の同窓会活動ですがここ2年ほどこの支部も総会をはじめとした同窓会活動が実施できていません。新型コロナウイルス感染が収束することを期待し今年度の同窓会総会は8月11日(木)の山の日に古川のアインパル浦島で本校OBによる演奏会を実施予定です。演奏会は2年スライドした企画ですのでなんとか開催したいと考えておりますのでお時間に都合がつく方は是非ご参加ください。すようよろしくお願いたします。最後に平成5年から平成17年まで本校同窓会会長を務めいただいた野村喜太郎先生が令和3年11月に逝去されました。長年の本校同窓会活動への功労に対し深く感謝と哀悼の意をこの場を表したいと思います。

MOTOR SPORTS OIL
FORTEC

エコオイルからレーシングオイル開発に携わり、国内、海外展開をしている。
FORTEC モータースポーツオイル発売元
耐久レース、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ等のサポートドライバーが大活躍しております。

代表取締役 渋谷 誠一(昭和42年卒)
フォルテック株式会社
〒270-1108 千葉県我孫子市布佐平和台4-5-23
TEL 04-7189-4117 FAX 04-7189-2687
<http://www.fortec-oil.com/>

東京 雪賞

完全燃焼

生徒会長 北川 翔大

この度は、東京雪賞という大変名誉ある賞を受賞させていただきました。心から感謝申し上げます。今までの努力が評価されたのだという達成感とともに、この名に恥じぬよう、これからより一層の努力をしようと思っております。

さて、この3年間を振り返りますと、古川高校で過ごした時間はとても有意義で充実したものであったと思います。「文武両道」という校訓を常に意識し多くの生徒が日々努力している中で、学校のリーダーという役割を勤めさせていただいたことはこれからの生活においてとても重要なものになると確信しております。私は、いつも他の生徒の模範となるように学業・部活動・生徒会活動の両立を目標に高校生活を過ごしてきました。部活動ではインターハイ出場、進路では第一志望の大学に進学と完全燃焼できた結果になったと考えています。

今回このような名誉ある賞を受賞させていただいたことは、私が辿って来た道は決して間違いではないのだという証明となりました。今までは本当に自分では学校の代表としてふさわしいのか、と不安になることもありましたが、この賞が自信となり、もう迷わ

ずに前へ進むことができます。改めて、今回の選抜本当にありがとうございました。

再び凱歌を

応援団長 石川 稜人

高校三年間を振り返ると色々な経験や学びがありました。一年時の初の定期戦で誰かを応援することとその応援が勝利という形で実を結ぶことの喜びを学び、応援団へ入団しました。二年時はコロナの影響で練習を満足に果たせないうまま終わってしまった、歯痒さと悔しさが心に残りました。そして団長となつてからは、後輩の応援団員や新入生たちに古高の伝統を引き継ぐことの大きな重圧を感じましたが、応援団の仲間たちや先生方に支えられ、最後の定期戦もやり遂げることができました。結果は惜敗でしたが、この悔しさをバネに、私たちの思いを継いだ後輩たちが来年再び凱歌を歌い上げてくれることを強く信じています。私は高校に入るまで人の前に立つことが少なく、誰かのために働くということがにも消極的でした。しかし応援団としての活動を通じて、大勢の仲間とともに励む力の大切さと他者のために汗を流すことの素晴らしさを学びました。今後は将来の目標である経営者となるために大学で経営学を学びます。応援団で得られた経験は大学、そして社会に出た後にも活かせるものだと思います。最後に東京雪賞という荣誉ある賞を受賞できたことに大きな喜びを感じるとともに、応援団長を務めたことを誇りに思います。



不屈不撓

2022年3月卒業生 進路状況

国立大 74名 (新卒69名+既卒5名)

Table with 5 columns: University, Faculty, Male, Female, Total. Lists universities like 北海道, 北教大, 弘前, etc.

Table with 5 columns: University, Faculty, Male, Female, Total. Lists universities like 宮城教育, 秋田, 山形大, etc.

Table with 5 columns: University, Faculty, Male, Female, Total. Lists universities like 群馬, 埼玉, 千葉, etc.

公立大 29名 (新卒27名+既卒2名)

Table with 5 columns: University, Faculty, Male, Female, Total. Lists universities like 青森公立, 岩手県立, 宮城, etc.

Table with 5 columns: University, Faculty, Male, Female, Total. Lists universities like 横浜市立, 新潟県立, 長岡造形, etc.

私立大 509名 (新卒499名+既卒10名)

Table with 5 columns: University, Faculty, Male, Female, Total. Lists private universities like 八戸工, 岩手医科, 盛岡, etc.

Table with 5 columns: University, Faculty, Male, Female, Total. Lists private universities like 東北文化学園, 宮城学院女子, 白鷗, etc.

Table with 5 columns: University, Faculty, Male, Female, Total. Lists private universities like 城西国際, 千葉工業, 青山学院, etc.

Table with 5 columns: University, Faculty, Male, Female, Total. Lists private universities like 大東文化, 中央, 東海, etc.

Table with 5 columns: University, Faculty, Male, Female, Total. Lists private universities like 武蔵野, 明治, 明星, etc.

短期大 9名

Table with 5 columns: University, Faculty, Male, Female, Total. Lists short-term universities like 仙台青葉学院短, 山形県立米沢女子短, etc.

専修各種学校 19名

Table with 5 columns: School, Faculty, Male, Female, Total. Lists vocational schools like 看護専門学校, 仙台ECO動物海洋, etc.

就職 6名

Table with 5 columns: Employer, Job, Male, Female, Total. Lists employers like 就職先, 国家公務員, 宮城県職員, etc.

令和 3 年度 年会費・賛助金納入状況一覧

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

同窓会活動の財源としての年会費並びに賛助金を、皆さまにご協力いただきありがとうございました。
納入された方々のご芳名を記して、お礼に替えさせていただきます。

卒年	氏 名
昭 19	青沼 康男
昭 22	結城 雅巳
昭 24	我孫子静夫、小林 昭、齋藤 馨、三浦 澄能
昭 26	鈴木 俊男
昭 27	大内 史彦、佐藤 清勝
昭 29	金村 繁、佐藤 茂、関 信良、高橋 清亮、高橋 滉、長浦 稠、八尋 恭平、湯本 良師
昭 30	相原 相、浅野 和夫、尾崎 光彦、門脇喜代志、門脇 敏明、岸 孝仙、京極 恒由、佐々木 豊、佐藤 輝久 瀬戸 順悦、曾根 研一、塚田 容三、手島 篤郎、寺井 稔、横山 武、渡辺 吉郎
昭 31	相澤 昭男、安住栄喜男、阿部 進、生亀 功、大石 隆一、木村 智明、熊谷 正俊、福原 克彦、松谷 嘉男 森谷 文彦
昭 32	遠藤 康光、北村 武行、佐々木悟郎、下屋 勝、竹谷 靖夫、野田 利美、門間 俊二
昭 33	大友 正行、大山 隆志、佐々木光一路、菅原 富男、鈴木 節夫、鈴木 将夫、高橋 俊裕、野村 高義、早坂 英郎 三浦 義明、森谷 拓夫、結城 睦夫、渡邊 紘也
昭 34	青沼 行雄、村上 金吾
昭 35	伊藤 勝利、大沼 直紀、佐々木恭二、佐々木武磨、佐々木庸二、鈴木 啓次、細谷 俊夫、我妻 一美
昭 36	江崎 肇、大益 弘、片倉 康、鹿野 軍勝、佐藤 宗博、鈴木 幹、高橋 幸裕、藤本 義明、枅澤 敬 吉田 二郎、我妻幾久寿
昭 37	澁谷 孝、千坂 孝夫、中鉢 泰平
昭 38	浅野 勝吾、阿部 重人、大曾根 昇、大場 和男、菅野 英俊、木村 康之、佐々木恭次、遊佐 義男
昭 39	石堂 達夫、上野 正司、菊地 忠信、後藤 雍正、笹原 誠一、澁谷 栄男、千葉 則道、前沢 義隆、吉田 雄
昭 40	高橋 修、高橋 博
昭 41	金澤 茂、狩野 民生、菊地 務、今野 忠雄、佐々木宗實、渋谷 量、高橋 秀之、八木 正志、渡邊 幸之
昭 42	伊藤 倉雄、遠藤 隆一、大友 文博、木村 智則、酒井 信一、佐々木昭美、佐々木敬悦、佐々木文安、佐藤 勉 澁谷 誠一、三浦 和夫、森谷 里美、門田 芳司
昭 43	遠藤 卓三、佐々木 博、田口 義昭、千葉 正夫、門間 勝
昭 44	相澤 次雄、岡村 明、鈴木 信正、角田 耕一、山中 政法
昭 45	荒川 忠一、岩瀬 昭典、小畑 伸一、角張 信隆、菅野 文敏、北村 善明、佐々木 質、佐藤 実、只野 祐 馬場 博、茂庭 進
昭 46	今川 和彦、遠藤 孝、笠間 邦彦、加藤 伸、佐々木 明、鈴木 博、森谷 隆
昭 47	相澤 司、板垣 宏、小嶋 進、大友 芳夫、高橋 光、松木 秀一
昭 48	伊藤 健二、伊藤 靖洋、石川 克城、加藤 敏朗、貝 修二、桜井 俊一、細川 金男
昭 49	早坂 正、磨 秀晴
昭 50	小林 健志、早坂 明彦
昭 51	阿部 重光、菅原 博之、早坂 時男、森谷 浩一
昭 52	阿部 眞、高橋 忠悦
昭 53	浅野 正則、遠藤 淳、高橋 昭彦、細谷 浩司
昭 54	松村 一三
昭 55	亀井 明、齋藤 秀範、佐々木洋朗
昭 56	佐々木治道、菅原 祐二、高橋 貞幸
昭 57	赤間 英一、中川 健志
昭 59	高橋 克嘉
平 11	菊地 宏幸

『年会費・賛助金
ご協力のお願い』

年会費・賛助金のご協力ありがとうございました。
令和 3 年度年会費・賛助金
納入者は記載のとおり 196
名で、そのうち賛助金協力者
は 129 名でした。
ご支援大変感謝いたします。
年会費は、物故者および転
居先不明の会員が多くなつて
きたため、減少傾向にあり、
今年度は賛助金が年会費を超
えました。
引き続き同窓会活動の為に
是非年会費共々賛助金をご支
援くださいますようお願いいた
します。

在京同窓会事務局

会員による自由投稿

半生を振り返って

昭42卒 佐藤 勉

法政大学経済学部在学中の学生時代は、学生運動で半分ロックアウトし、麻雀と今妻との恋に明け暮れておりました。

1970年全国の大学が、青カラスにロックアウトされ、法政が最後の碧の掃きだめとなり、ヘルメット色・赤、青、白、黒、ピンク。鬼の4機（警視庁第4機動隊）が校舎を包囲。教職員、学生、セクトも含め阻止。マル経 大内兵衛の、社会の一木一石たれ！。良い大学に集えた。それだけ。

今妻が仙台に職を得ていたので、その理由のみで東北金属工業に入社する。

仙台勤務と思いきや、横浜戸塚事業所の応用装置事業部に配属される。高校の先輩たち。去年できたばかりの事業部で、大赤字でどうしようもない事業部。おまえ相当成績悪かったな。そう言われれば、よさそうなる奴は伝統的な通信磁性材料の長男坊、次男坊は製造事業部及び本社スタッフであった。



カリフォルニア州 サンノゼにて (右端：著者)

1971年初赴任。事業部長が「良く来た。成績良いものは取れなかった。その中でも中学の成績の良いものを選んだ」。過疎の町だったので1番か2番だったな。「事業部は赤字だし、人手不足でもない。新しい価値を生んでもらうために来てもらった。明日からの仕事はない。自ら作れ！」。強烈、脳みそドカン。

電電公社とN E Cのみの官公需では早晩行き詰まる。自動車を含む民生市場を開拓するこの人との出会いがなかったら我が人生……。

商品企画して具体的商談にし、開発部隊を組織化して新商品を連続的に市場導入する。電電公社及び交換各社への営業では話にならず、導入から販販まで営業の仕事であった。仕事が目白押し、道楽！オート、モーター！自動車、炊飯機器用温度センサー、スイッチング電源機器、EMC対策部品、カードリーダー、テレホンカード等商品化してダメ事業部が85年には会社の利益の大部分を占めるまでになった。その後その事業部長が亡くなり、自らの地位も上がり、やっぱり電電公社体質との確執等で1997年に退社することになる。

今しみじみと成績の悪いことが、こんなに幸せなんだと。良かったら大赤字の事業部にもいけなかったし、恩人にも会えなかった。思いもよらなかった能力に、トリガーをかけてもらった。成績が悪いゆえに、今70有余歳にしても新商品で「おまんま」食べている。1971年入社時赤井電機、パイオニア、サンスイ等が大人気で成績最優秀者が入社。がしかし、現在三社共ないに等しい。成績良いは不幸である。

退社後台湾の会社と合併して1億円の会社を1年で休眠にする。大挫折。また前の会社からの妨害がすさまじく、ホームレスの恐怖であった。1999年東和マグネブロダクツ株式会社を創業する(社名は、磁性部品の製造において東アジアの平和

に貢献したい、の意)。運が良かった。今までのお客様が個人会社に目を向けてくれた。北朝鮮と縁ができて、製品のQCDS (品質・コスト・納期・サービス) で大手ライバルを圧倒することが出来た。2005年には18億円ほどの事業規模となった。2006年11月唐突に北朝鮮原産の輸入禁止が出され、当方は加工貿易であり、日本原産であったが加工貿易の世界の法解釈をまげ、北朝鮮だけは例外として禁止した。その時から売上がゼロになった。お客様もラインの維持が出来なく、お互い大きな問題で、傷跡を残した。あきらめない、あきらめたらその瞬間に今までの苦労が水泡に帰す。毎日、毎日それだけ。

会社概要

本社 東京都大田区東大田2-1-16
TEL:048-260-5788 FAX:048-260-1624

主要輸入先
富士電機、富士通ゼネラル、ニチコン、パナソニック、TDK、東芝データコミュニケーションズ、東芝ホームテック、日立グローバルソリューションズ、日立ジョンソンコントロールズ、日立システムズ、サンデン、オムロン、ミネベアミツミ、オリンパスイメージング

本社工場
山形県東田町新町荒川田原 45-1
TEL:0235-64-8286 FAX:0235-64-9374
・次期工場 10万個/月
・人員 20名

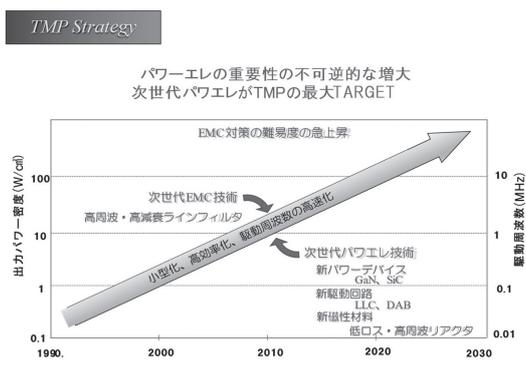
マニマ電機 (Manima Electronics Co., Ltd.)
106 MOO 3 TUMBEI SAMRAN AMPURE
MUANGKHOHANG KUDKHAM BKKO THAILAND
TEL:66-431379-488 FAX:66-431379-480
・トヨタ自動車
・生産規模 100万/月
・人員 200名・生産量の100%がTMPブランド

（株）TMP
#102 Yongbloehongsa 36, Saenman-ro 3-gil, Jongro-su, Seoul, 110-070 KOREA
TEL:82-2-720-4909 FAX:82-2-720-4901
・パワーインダクタ生産
・生産規模 160万/月
・人員 10名
・TMP資本 60%

商品構成は主に二つの商品で、太陽光、蓄電池、EVのアプリケーションを最大ターゲットに。蓄電池ソーラパワコンの例を、今後の新商品の戦略は「TMP Strategy」に述べたとおりです。

東大を定年退官、熊本にある東海大学農学部・総合農学研究所に赴任してちょうど4年が経ちました。東

様々な出会いの中で 昭46卒 今川 和彦



TMP Strategy

再生エネルギー社会
CO2-Free社会
省エネルギー社会
ゼロエミッション社会

- ①エネルギー消費量の削減
・機器のエネルギー効率の向上
- ②エネルギーの低炭素化
・太陽光・風力発電の拡大
- ③利用エネルギーの転換
・ガソリン車からEVへ
・暖房・給湯の変動インバータ化
・モーター駆動のインバータ化

エコカー エコ住宅(EH) エコ家電
エコオフィス エコファクトリー
全てエコ

大に丸20年、その前はアメリカ(米國)に18年住んでいました。米國在住の後半11年間は研究者としてしっかりと働いていたおかげで、米國の年金を受け取る資格が取れました。日本ではまだ頂いていませんが、米國の年金はしっかりと頂いております。

昭和46年古高を卒業、茨城大学農学部で4年間過ごし、父親の足のケガもあり大学卒業後は大崎市田尻沼部の両親宅で稲作と肉牛肥育に励んでいました。最初の年の9月の長雨(秋霖)で稲が倒木、発芽したのを見て心が折れそうになりました。農業を生業にするなら、こんな弱い農業者ではなく強く逞しい農業経営者なることを目標に定めました。そして翌年の昭和51年、米國の強い農業経営者の元で修行するために派米農業研修生として米國に渡りました。2年間の農業研修プログラムのうち、1年半はカウボーイ生活をしていました。



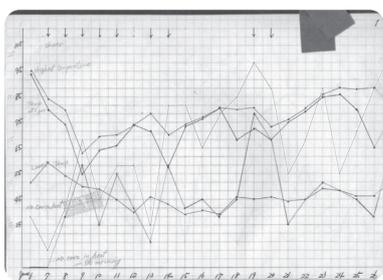
長い時には一日14時間馬に乗る生活は最初こそ大変でしたが、慣れてくるにしたがって様々なものが見えるようになってきました。1~3月は分娩、繁殖期の春から初夏にかけては牧草地 (Meadow) にいる約1300頭の雌牛の中から発情牛を見つけては、馬で誘導し、5~6km離れた牧場主(ボス)の家の近くの囲い(クラウコト)に連れてくる



ことが仕事でした。ボスは人工授精が得意な方で、話し好きの人でもありました。

一日の発情牛が多い日や少ない日があることに気づき、それを記録するようにになりました。繁殖期が進むにつれ、発情牛を連れていくたびに、この牛は40日前に、あの牛は20日前に発情していなかったとボスに聞くと、ノートを見ながら「合っている。でも、なぜ分かるんだ？」牛の観察をすることが私の仕事でした。Its my job というと妙に納得してもらっていました。そのうち、ボスの方から「なぜ、あの牛は人工授精1回で妊娠したのに、この牛は3回も人工授精しても妊娠しないんだ？」と問われるようになりました。

この研修生プログラムの最後には、リンカーン市にあるネブラスカ州立大学にて3か月間畜産学を学びました。このプログラムのディレクターは Dwight Stephens 先生といってアメリカ農務省の研究者を退職した方でした。その授業は、いわゆる教科書的なものではなく、データを基にして研修生に考えさせるように作られていました。この1年半、アメリカのド田舎でカウボーイとして過ごしていたので街の灯りに誘われて遊ぶことも多かったのですが、牧場の「人工授精の回数と妊娠や栄養状態との関連」については図書館で文献を調べ、それをレポートに仕上げ



(実際の図: その日の最高気温、最低気温、午後5時の気温、午後5時にわか雨(→)、午前中の発情頭数と午後の発情頭数)

いくことだけには時間をかけました。ネブラスカ州立大学の図書館は24時間開いているので研究生仲間と街で飲んだ後でも文献調べができました。そのレポートが100+という非常に高い評価を受けました。Stephens 先生だけではなく、他の3人の教授の先生から、この研究をするためにネブラスカ州立大学で大学院生にならないかと誘われました。アメリカの大学の大学院に入るためには Toefl と GRE (Graduate Record Examination) の両方にパスしなければ大学院生になれません。派米農業研修中に両方を受験したのですが、どちらもパスしませんでした。

やがて、2年の農業研修生活が終わり7月1日に帰国、そのまま田尻の両親宅で農業を続けていました。日本の生活の中でいつしかアメリカの大学院で学ぶことを諦め、その気持ち消そうと考え始めていたその年の12月1日、Stephens 先生からの国際電話がありました。正直に迷っていると言えた10日後、分厚い国際郵便が届きました。その書類を見つめて、どう見ても大学院入学が決まっている、その書類をアメリカ大使館へもっていくと学生ビザがもらえるものでした。1週間悩みながら過ぎしましたが、「やらずに後悔するならば、やってみよう」と思い、いよいよ「と考えるとアメリカ大使館でビザを発行してもらい12月25日に再渡米をしました。

ネブラスカ州リンカーン市では Stephens 先生らに迎えられ、再渡米10日後の翌年の6日から授業が始まりました。最初、講義の英語が聞き取れず大変な思いをしました。6週間目に私が大きな階段教室にて英語でプレゼンをしている夢を見ました。それ以降、突然、授業内容が分かるようになりました。研究は繁殖牛の栄養(量は変えずにエネルギー)落とすと発情周期が止まり、その後エネルギーを増やすと発情

周期が回復。それがどのような順序で起こるのかを初めとして、性成熟に達するときの機序や分娩後に性周期を回復するまでのホルモン動態などを研究していききました。修士の終わりが近づいてきたとき指導教員の Kinder 先生に博士進学を相談すると「You are a Ph.D. material」という返事が返ってきました。動物を使った研究がより見えてきた時なので博士課程に進学、博士までに論文を17報出すことにもなりました。ところが、就職口は全くなく、アメリカのP&Gで働き、合成洗剤の研究を進めていました。会社の環境はとても良かったのですが、「自分は何故Ph.D.まで取ったのか」など自問自答するなかで、指導教員の Kinder 博士からミズーリ大学に Mike Roberts という著名な先生が赴任する、その先生が博士研究員(ポスドク)を求めているから応募しないかと連絡をもらいました。

博士研究員になる前に、自分はどうすれば(どんな研究をどのようすれば)アメリカで研究職に就けるのかなどを考え、ポスドクに応募したところ、受け入れられ、研究生生活が始まりました。ここでは、分子生物学の技法を駆使しながら、Roberts 先生が一番力を入れていた「妊娠・非妊娠を分ける子宮内因子」などを見つけた研究」に就くことができました。反芻動物が妊娠・非妊娠を分ける時期に胎児が分泌するタンパク質とその遺伝子を見つけ、ポスドクの最初の論文が Nature に掲載されました。

Nature 誌に第一著者で出ると様々なところからインタビューがあり、いわゆる Nobody から Somebody にもなっていました。ここからは仕事のオフアームも増え、カンザス州立大学医学部産婦人科で Assistant Professor の職を得ました。いよいよ自分で研究室(ラボ)を持ち、アメリカ人を雇い教育・指導しながらの

研究者の道を進むことになりました。しばらくすると東大からもオフアームが来るようになりまし。私自身茨城大学を卒業、受験生の時には東大は夢にも出てこなかったところだったので、東大にお断りしました。すると、ある著名な先生がカンザス州立大学のラボまで来てくれ再びお誘いをいただきました。さらに一か月後、同じ先生が来てくれ、「アメリカでやっていたことを東大生にやってくれないか」と誘われました。それは学生を甘やかす教員ではなく、キチンと指導し、英語の論文を書かせながら研究者として育てると言うものでした。「それならばできます」と東大赴任を決断しました。

アメリカで一癖も二癖もある連中を指導してきたおかげか、東大生の素直さに感動する日々の中で学生指導をすすめていきました。いつの間にか私の研究室が一番厳しいという研究室となり、毎年、覚悟もった学生が入室するようになりました。結局、東大に20年しかいなかったのですが、私の研究室の出身者だけで教授が7人、准教授が8人、助教5人を輩出するという素晴らしい人材に恵まれました。

さて、これまでの研究で受精だけでは必ずしも妊娠が成立しないことが分かっています。実際、牛では約半数の受精卵が妊娠に至りません。ヒトの生殖医療では75%の受精卵が妊娠に至りません。また、ポスドクの時に見つけた因子だけでは妊娠は成立せず、妊娠は胎盤ができてこそ安定します。この15年以上、どのようにすれば胎盤ができるかを研究している中で、胎盤の形成にはウイルス遺伝子が必要であることが分かってきました。私たちの細胞のゲノムの中には30億対の塩基配列(DNA)が存在しています。その中で機能遺伝子として約1.5%、内在性レトロウイルスとして約8%、つまり遺伝子として機能する約5%の塩基配列がウイルス由来なのです。

通常、ウイルスが外から侵入しても排除されてしまいます。ところが、何十万年に1回ぐらいの確率で侵入したウイルスがゲノムに生着(内在化)してしまいます。通常、内在化したウイルスは動くことはありません。内在化したウイルス遺伝子がともに動く生体(宿主)にとって良いことはありません。そのため、内在化したウイルス遺伝子には様々なところで変異が入り、ウイルス遺伝子としての機能が発揮できないため、宿主と共存できるようにしています。ところが、ウイルス遺伝子全体ではなく、ある一部は変異を受けず、あたかも機能遺伝子のようにふるまえる箇所が存在するものもあります。そのようなウイルスの遺伝子の一部(コア領域)が特に胎盤形成の初めに見られる細胞同士の融合に必須であることを発見しました。そのためウイルス遺伝子を辿ると、その動物の成り立ちが分かるのです。ただし、この発見はほぼ同時期に日本、フランスやアメリカでもされました。



東大5月祭りに研究室の学生らと(前列右端:著者)

現在、ウイルス遺伝子の生体への内在化の過程や、ウイルス遺伝子発現の制御をしながら胎盤という臓器を作り出すための研究を行っています。(現在東海大学農学研究所長・教授)

会員通信

退会、死亡連絡

〔退会〕

佐澤 正剛氏 (昭和27年卒)

長女の佐澤尚子です。父は88才になり要介護状態で私の家に引き取っております。配布物等はご遠慮いたします。ありがとうございます。

青沼 行雄氏 (昭和34年卒)

お世話になりました。体調不良にて「在京古高同窓会」を退会させて頂きます。今後共、会の盛会を願っております。

〔死去〕

佐々木 豊氏 (昭和30年卒)

昨年の12月25日に天国に召されました。今までのご厚情ありがとうございました。(奥様から)

師山 政夫氏 (昭和30年卒)

昨年十月に老衰のため世界いたしました。長年にわたり大変お世話になりました。ありがとうございます。(令和三年十月十六日逝去)

岸 孝仙氏 (昭和30年卒)

令和三年11月28日永眠いたしました。長い間、お世話になりました。

浅野 森男氏 (昭和31年卒)

父、森男は、2021年11月18日に亡くなりました。ご連絡いたしました。生前はお世話になったことと存じます。ありがとうございます。(長男 浅野徹様)

藤本 義明氏 (昭和36年卒)

本年9月30日、夫義明が永眠いたしました。これまでお世話になりましたこと感謝申し上げます。妻よし子

近況連絡

● 人生92年、元気に生かされ感謝しております。(S21結城雅巳)

● 陶芸、尺八、そば打ち 趣味 (S29湯本良師)

● 今のところまあまあ体調を維持しています(週1のテニスはなんと

か継続したいと思っております)。コロナ禍一日も早い終息を……。

● 年齢とともに年々喪中のハガキが多くなり、年賀のハガキの減少に心を痛めて、独り亡き友を偲びながら薬酒を口に運ぶ新年でした。友よ！共に健康寿命に挑み続けようではないか。(S30門脇喜代志)

● 未だ動けるので卓球をやっております。試合も時々やっております。それと囲碁もボケ防止でやって楽しんでおります。(S30横山武)

● 妻(83)認知症(要介護5)で「特養ホーム」に入居、為に家事一切をこなす「主夫業」を含め、庭木の手入れ等で日々、体を動かしているのが健康に過ごしています。妻より先に逝く訳にはいきませんが……。(S32下屋勝)

● 市のコロナ対策に従って、公民館で週2日囲碁を打って楽しみなながら元気に過ごしています。(S32竹谷靖夫)

● 80才を迎え終活作業まっ最中といったところですが、書類整理中、あつちへひっかかり、こつちへひっかかり、タイムスリップを楽しんでいます。(S35佐々木恭二)

● 第4期、遊任期の人生をすこしてあります。それほどの目的もなく、人にもとめられることを実行できればと思っております。(S36大益弘)

● 生まれ故郷に帰り、地域医療に関与しています。「先生はいつまでいるんですか？」と聞く患者さんがいます。「死ぬまでいますよ。安心して通院してください。」と答えています。あと10年、生きられるかな！(S38阿部重人)

● 社会保険労務士として、主に中小・零細企業に対し、人事・労務問題、労働保険・社会保険関係を中心としたサポートを行っています。また16年余り、高年齢者雇用アドバイザーを務めており、昨年「70歳までの就業確保」措置の導入支援を

行っています。理想は、死ぬまで現役。(S39後藤雅正)

● ワクチン接種(3回目)予約済。行政区の役員も3月で終了予定……。運動は続けています(サイクリング、ジョギング他)。体力の低下の中で無理せず一日一日を大事にしたいと思

います。皆さんとお会いする日を楽しみにしています。(S39笹原誠一)

● 2022年1月1日(土)で後期高齢者となりましたが、老体にムチ打って、地域のサークル(カラオケ、通学路の見守り(スクールガード)等に汗を流しています。同居している義父(103才)に負けないようにがんばっています。(S40高橋博)

● お陰様で、今のところ病院や薬の世話になることなく、元気で暮らしています。週に2回、バトミントンで汗を流しています。(S41高橋秀之)

● コロナ感染、早く終息してほしいです。デルタ株に比べてオミクロン株は感染力において強烈です。皆さん感染しないように頑張りましょう。(S44相澤次雄)

● 陸奥河内(大崎氏入封前の地域名)の城館探訪をしながら郷土史の勉強会を私設ライブラリーの利用者とともに続けています。これまで見えなかったことが、見えて来るような気がします。(S45岩瀬昭典)

● 新年あけましておめでとうござい

ます。今年は暖かくなったら、郷里(古川)へ墓参りに行こうと思っ

ています。オミクロンが大きな支障とならなければ良いのですが！(S46遠藤孝)

● 大学の非常勤の講義もコンサルも

全てWEBになりました。対面でも皆様に

お会いすることを楽しみにして

います。(S47板垣宏)

● 旧市内四校の「新年の集い」が今

年(2022年)も中止になり残念

です。高校から続いているハンドボ

ールのシニア大会も相次いで中止に

なり運動不足になっています。(S48加藤敏朗)

● いつも事務局活動、ありがとうございます。メールアドレスを記入しましたのでよろしくお願いたします。そろそろメールでの連絡に変更しては、如何でしょうか。当面は選択性にしても良いと思います。ご検討ください。(S51阿部重光)

● 2022年1月より「みやぎ絆大使」に就任いたします。(S51森谷浩一)

● 10年以上ほぼ毎日1万歩以上、距離にして7キロ以上歩いている。いつの間にか、かの宮脇俊三氏(旅行作家)が乗りつぶした国鉄(1)2万キロの距離は超えている。いつか、歩くだけでなくJRの乗りつぶしがしたい。(S52阿部眞)

● 母校中央大学の教壇に立つこと、15年目になります。かつて教室で机を並べた藤川君が古高の校長になられたのは、私としても誇りに思います。以前、中大の私の講義の履修者に、仙台一高で藤川君に化学を習ったという学生がおり、奇遇でした。貴同窓会と会員皆様の益々のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。2021年12月27日(S56松谷泰樹)

● ベルギーで働いている娘は年明け早々にプーンスター接種を終えましたが、日本はまだまだこれから……。彼我の差に落胆しきりですが、最後の頑張りと思つて(願つて)不自由な日を過ごしております。(S57赤間英二)

編集後記

● 今回は、マンネリ的であった紙面構成を若干変え、講演内容を1面に持つてきました。印象はいかがでしょう？

● コロナに関しては、ワクチン接種も進んでおり、ゼロではないものの、リスクは減少傾向と判断し、総会開催となりました。久しぶりの総会、皆様との再会を楽しみにしています。(亀井)

複雑な税務問題の相談に応じます

税理士鈴木博事務所

税理士 鈴木 博 (昭和46年卒)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1 第37森ビル1階 (虎ノ門合同事務所)

TEL 03 (3433) 0481 FAX 03 (3433) 0493 E-mail : hiro0917@toranomom-ssta.com

TECHNOLOGY of MAGNETIC PRODUCTS

EMC対策部品

- ノーマルモードラインフィルター
- コモンモードラインフィルター

チョークコイル

- スイッチング電源用プーストチョークコイル
- インバータ家電PFC用プーストチョークコイル



TMP株式会社

代表取締役 佐藤勉(昭和42年卒)

神奈川県大和市大和南 2-1-16 大和ホワイトビル7F TEL 046-260-6788 FAX 046-260-1624